



## 第1回教科指導プロフェッショナル研修



「教科指導プロフェッショナル研修」は、教科指導のプロをお招きした師範授業とご講話を通して、燕市教職員の授業力向上をねらいとして行われている事業です。その第1回が、6月5日（月）に小池中学校で行われました。

鶴見大学文学部教授 岩間 正則 様より、国語の師範授業とご講話をしていただきました。当日の様子について、ご紹介します。

### <師範授業>

中学校1年国語「文学作品を設定にこだわって読んでみよう」（教材名：「トロッコ」）の授業でした。叙述からの心情の変化を読むのではなく、各自の知識や経験と関連付けて読む方法について、具体的に示していただきました。

### <ご講話>

「読解力」の育成に向けて、PISA型「読解力」を育成するための方策や、考える力・表現する力の育成を考えた授業改善の視点などについて聞くことができました。一部紹介します。

### PISA型「読解力」を育成するための方策 —7つの指導のねらい

ア テキストを理解・評価しながら読む力を高めること

- (ア) 目的に応じて理解し、解釈する能力の育成
- (イ) 評価しながら読む能力の育成
- (ウ) 課題に即応した読む能力の育成

イ テキストに基づいて自分の考えを書く力を高めること

- (ア) テキストを利用して自分の考えを表現する能力の育成
- (イ) 日常的・実用的な言語活動に生かす能力の育成

ウ 様々な文章や資料を読む機会や、自分の意見を述べたり書いたりする機会を充実すること

- (ア) 多様なテキストに対応した読む能力の育成
- (イ) 自分の感じたことや考えたことを簡潔に表現する能力の育成

※ 「読解力向上に関する指導資料～ PISA 調査（読解力）の結果分析と改善の方向」

2005年（平成17年）12月・文部科学省

岩間様は、「上記の資料を読むと、燕市で取り組んでいる『読解力』の育成の根っこの部分が分かります」とおっしゃっていました。この資料は、文部科学省のHPで公開されています。

（URLはこちら↓）資料に目を通し、指導に生かしていただくことをお勧めします。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/gakuryoku/siryo/1379682.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/siryo/1379682.htm)